



Powered by creativity



TDK. The electronic components company.

2011年3月期 通期決算説明会

2011年4月27日
TDK株式会社

- ◆ 2011年3月期 連結業績概要
2012年3月期 連結業績見通しについて
代表取締役社長 上釜 健宏
- ◆ 2011年3月期 連結業績補足
第4四半期概要
経理部長 桃塚 高和
- ◆ 受動部品事業について
取締役/常務執行役員 荒谷 真一
- ◆ 記録デバイス事業について
常務執行役員 小林 敦夫

2011年3月期 連結業績概要
2012年3月期 連結業績見通しについて

TDK株式会社
代表取締役社長
上釜 健宏

2011年3月期 連結業績概要



(億円)	2010年3月期 通期実績	2011年3月期 通期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	8,089	8,757	669	8.3
営業利益	258	638	380	147.7
営業利益率	3.2%	7.3%	+4.1pt	-
税引前利益	219	601	382	174.2
当期純利益	135	453	317	234.8
1株当たり利益(円)	104.82	350.90	246.08	-
為替	対ドルレート	92円89銭	85円73銭	7.7%の円高
	対ユーロレート	131円18銭	113円12銭	13.8%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約574億円の減収 営業利益：約180億円の減益			
震災による 影響金額	売上高：約11億円の減収 営業利益：約18億円の減益			

◆東日本大震災の影響

- 約11億円の売上減少/約18億円の営業利益減少
- 震災直後から自動車市場での生産調整が顕在化
- その他セット製品市場の動向を注視
- 現在の状況及び今後の対応等（10ページをご参照下さい）

◆エレクトロニクス製品市場はセット製品により異なる

- スマートフォン、タブレット端末の生産が大幅に増加
- 自動車、産業機器市場は安定的に推移
- フラットTV、ノートPC、HDDの生産調整が継続

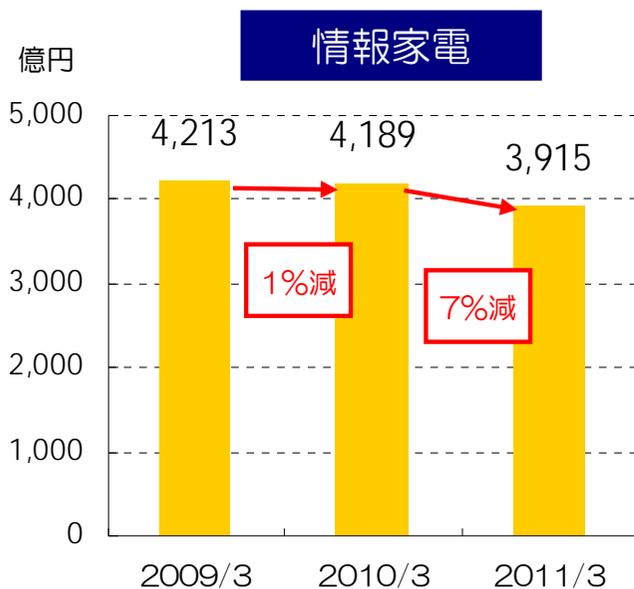
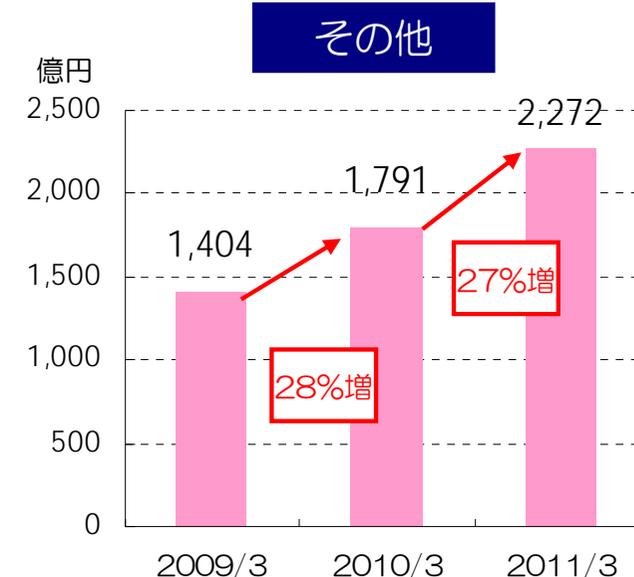
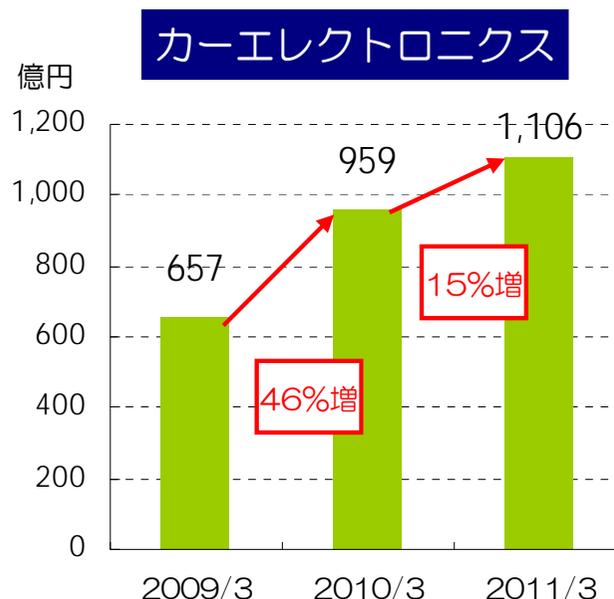
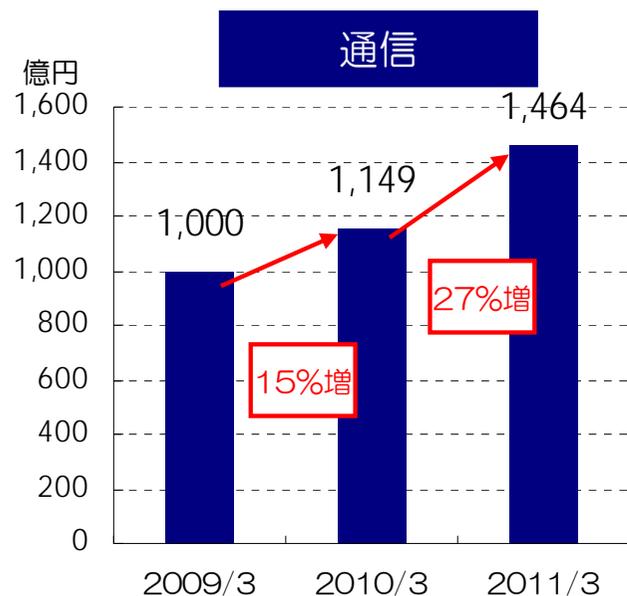
- ◆ **受動部品の売上高は前期比18.2%増**
 - ・ インダクティブデバイスが幅広いセット製品向けに増加
 - ・ 高周波部品がスマートフォン向けに大幅増加
 - ・ アルミ・フィルムコンデンサーが再生可能エネルギー・産業機器向けを中心に増加
 - ・ セラミックコンデンサーが自動車向けを中心に増加

- ◆ **磁気応用製品の売上高は前期比4.0%減**
 - ・ 記録デバイスの販売がHDD市場の生産調整及び円高の影響を受け販売が減少(前期比8.0%減)
 - ・ 電源製品の販売が産業機器向けを中心に増加

- ◆ **その他の売上高は前期比26.2%**
 - ・ 二次電池の販売がタブレット端末向けを中心に増加

2011年3月期通期決算の特徴

TDKグループ/分野別売上高の推移

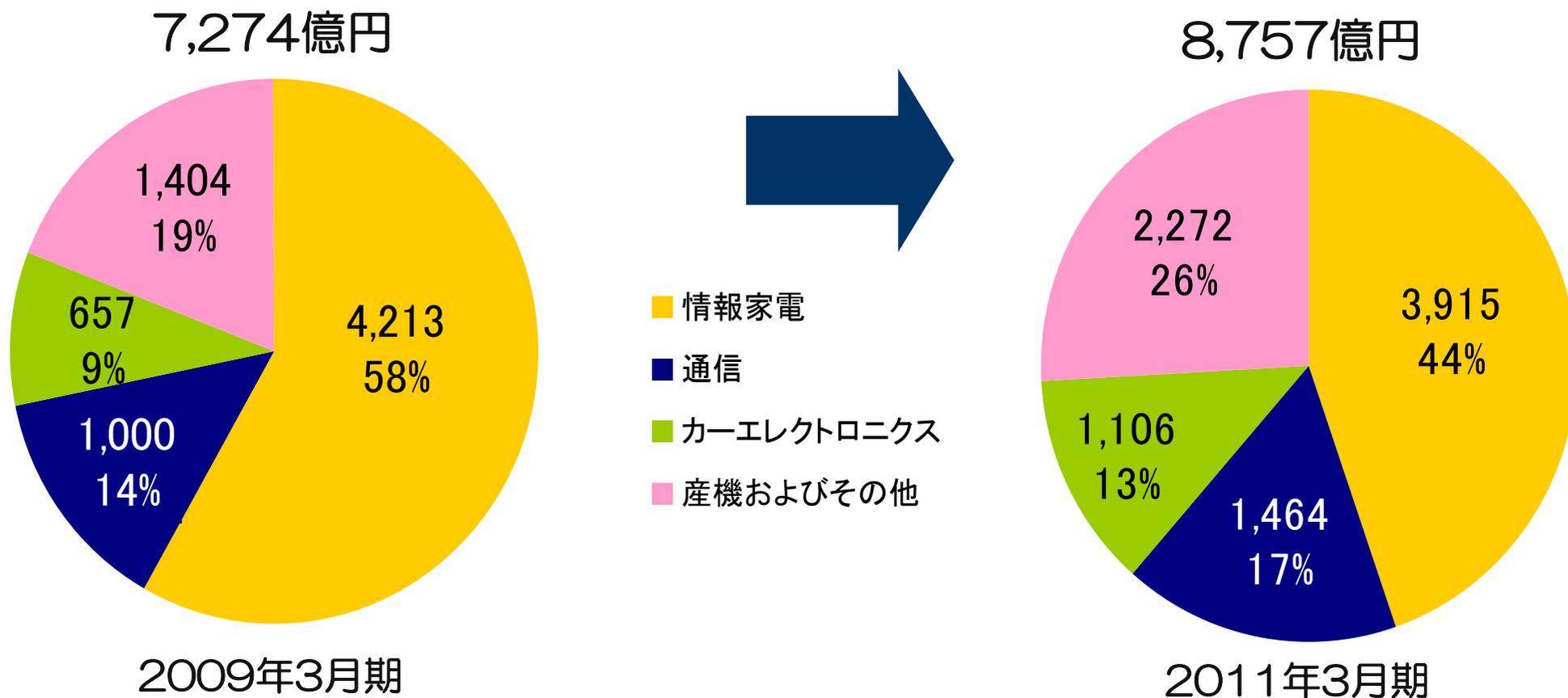


重点3分野の売上が大幅に増加

1. 通信
2. カーエレクトロニクス
3. その他 (再生可能エネルギー、産業機器などを含む)

※2009年3月期の下期よりエプコス連結

分野別売上構成の変化



- 売上の増加に伴い分野別構成比が変化
- 情報家電分野以外の3分野の構成比が2009年3月期の42%から2011年3月期には56%まで拡大

※2009年3月期の下期よりエプコス連結

- ◆ 東日本大震災により、当社の連結業績に影響を与えるセット製品の生産水準を見通せないため、2012年3月期の連結業績及び配当金見通しは未定としております。
- ◆ 業績の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(円)	2010年3月期 通期実績	2011年3月期 通期実績
中間配当	30	40
期末配当	30	40 (予定)
年間配当	60	80 (予定)

【現在の状況】

- 対象25事業所は全て生産及び業務再開済み
- サプライチェーン上の懸念は一部の部材を除き解消見込み

【震災後に行っている施策】

- 安定生産体制確保
 - 設備破損予防及び早期復旧体制の強化
 - 予想される夏季電力不足に対する対応
 - ✓ 生産体制の変更などによる節電対策の実施
 - ✓ 自家発電設備導入によるバックアップ体制の確立
- 調達戦略の再検討
- リスク管理体制の再構築

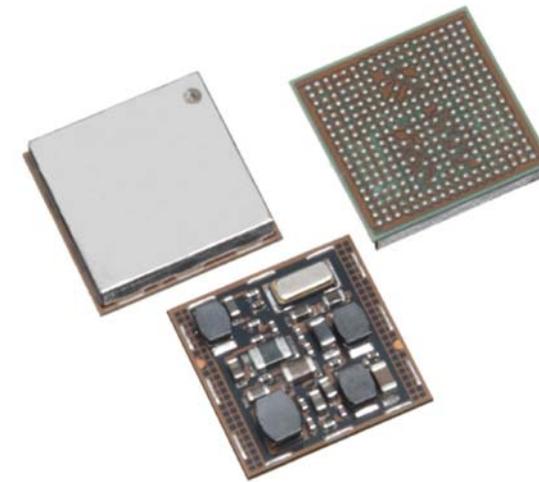
部品メーカーとしての供給責任を果たす

◆ 通信分野

- 薄膜デバイス
- 高周波インダクター
- IC内蔵基板を使ったモジュール製品

◆ カーエレクトロニクス分野

- DC-DCコンバーター
- パワーコンデンサー（フィルムコンデンサー）
- センサー



IC内蔵基板を使ったモジュール

◆ 情報家電分野

- HDDヘッド
 - ✓ 2.5”500GB/P及び 3.5”1 TB/P
- 2次電池
- 光学応用部品
 - ✓ PC向け光送受信モジュール（Light Peak）など

◆ 再生可能エネルギー・環境分野

- 日系顧客への拡販活動強化（金属磁石・各種コンデンサー・トランスなど）
- LED照明むけESD対策部品

2011年3月期 通期業績補足/第4四半期概要

經理部長
桃塚 高和

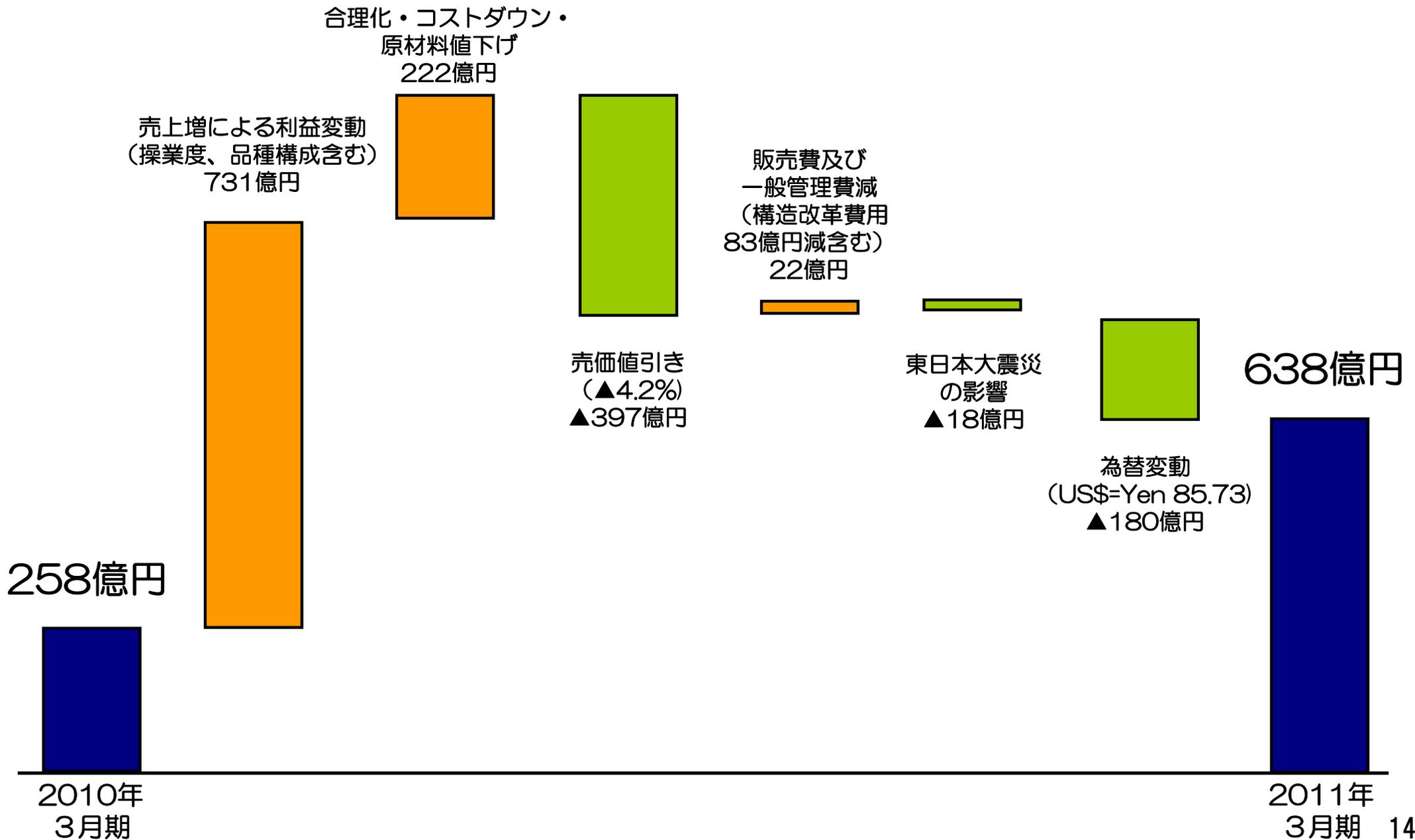
2011年3月期 連結業績補足



(億円)		2010年3月期 通期実績		2011年3月期 通期実績		対前年同期比	
		金額	%	金額	%	増減	増減率 (%)
売上高	コンデンサ	1,331	16.5	1,454	16.6	123	9.2
	インダクティブデバイス	1,120	13.8	1,358	15.5	238	21.3
	その他受動部品	1,197	14.8	1,500	17.1	302	25.2
	受動部品計	3,648	45.1	4,311	49.2	663	18.2
	記録デバイス	2,800	34.6	2,575	29.4	△225	△8.0
	その他磁気応用製品	1,037	12.8	1,110	12.7	72	7.0
	磁気応用製品計	3,837	47.4	3,685	42.1	△153	△4.0
	その他	603	7.5	761	8.7	158	26.2
	合計	8,089	100.0	8,757	100.0	669	8.3
営業利益	受動部品計	△103	△2.8	247	5.7	350	-
	磁気応用製品計	467	12.2	469	12.7	2	0.4
	その他	52	8.6	55	7.2	3	5.8
	全社及び消去	△159		△133		26	-
	合計	258	3.2	638	7.3	380	147.7

営業利益増減分析

営業利益の増加 +380億円



(億円)	2010年3月末	2011年3月末	増減
総資産	10,915	10,609	△ 306
負債合計	5,418	5,211	△ 207
うち有利子負債	2,701	2,450	△ 251
株主資本	5,438	5,343	△ 95
(うち包括利益)	△ 1,721	△ 2,180	△ 459
株主資本比率	49.8%	50.4%	0.6pt

2011年3月期 第4四半期概要（4Q）



(億円)	2010年3月期 4Q実績	2011年3月期 4Q実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	2,113	2,136	22	1.0
営業利益	83	94	11	13.3
営業利益率	3.9%	4.4%	+0.5pt	-
税引前利益	110	89	△ 21	△ 19.1
当期純利益	35	66	31	88.6
為替	対ドルレート	90円69銭	82円31銭	9.2%の円高
	対ユーロレート	125円49銭	112円66銭	10.2%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約188億円の減収 営業利益：約53億円の減益			

2011年3月期 四半期比較 (3Q vs 4Q)

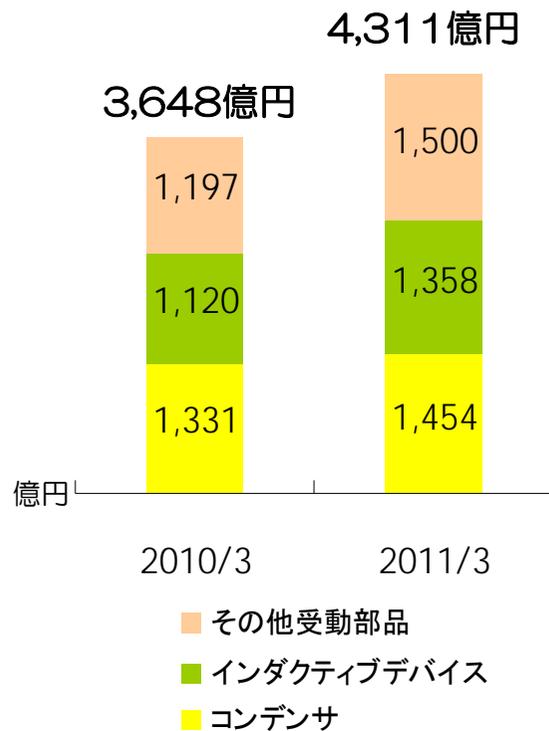


(億円)		当第3四半期実績 (2010.10.1~2010.12.31)		当第4四半期実績 (2011.1.1~2011.3.31)		対前四半期比	
		金額	%	金額	%	増減	増減率 (%)
売上高	受動部品計	1,084	49.3	1,081	50.6	△3	△ 0.3
	磁気応用製品計	908	41.3	852	39.9	△56	△ 6.2
	その他	207	9.4	203	9.5	△4	△ 1.9
	合計	2,199	100.0	2,136	100.0	△63	△ 2.9
営業利益	受動部品計	63	5.8	50	4.6	△13	△ 20.6
	磁気応用製品計	115	12.7	68	8.0	△47	△ 40.9
	その他	20	9.4	8	3.9	△12	△ 60.0
	全社及び消去	△25		△32		△7	-
	合計	172	7.8	94	4.4	△78	△ 45.3

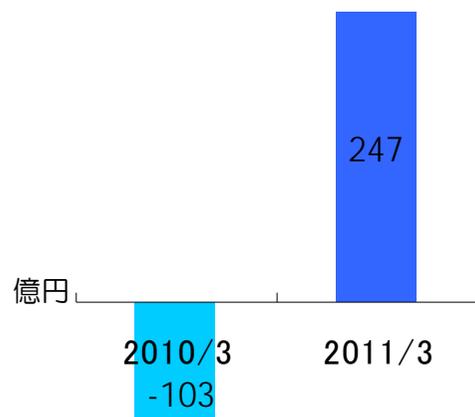
受動部品事業について

取締役/常務執行役員
荒谷 真一

受動部品事業売上高



セグメント利益



◆受動部品セグメント

売上高：4,311億円、前期比18.2%増

営業利益：247億円（前期は103億円の営業赤字）

<受動部品セグメントの内訳>

◆コンデンサ事業

売上高：1,454億円、前期比9.2%増

セラミックコンデンサが、通信機器及び自動車市場向けに増加
アルミ・フィルムコンデンサが、産業機器市場向けに大幅に増加

◆インダクティブデバイス事業

売上高：1,358億円、前期比21.3%増

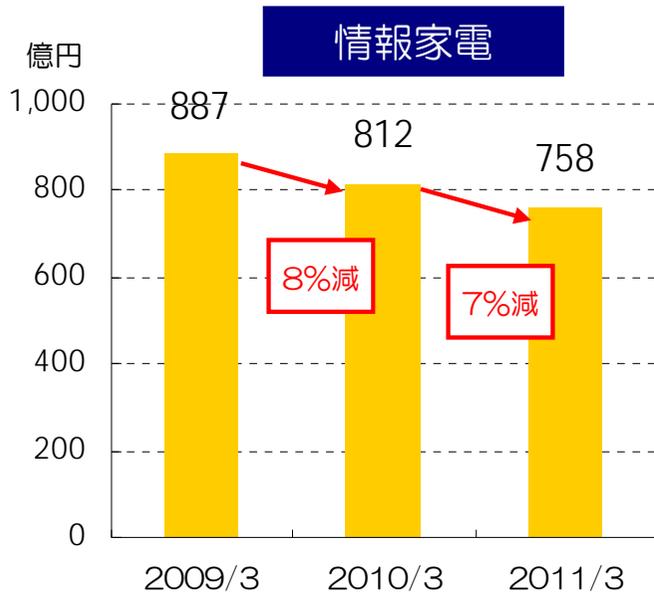
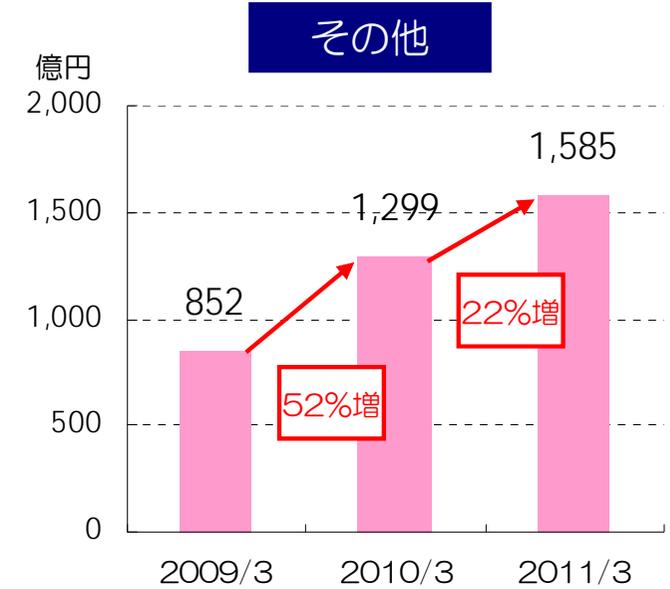
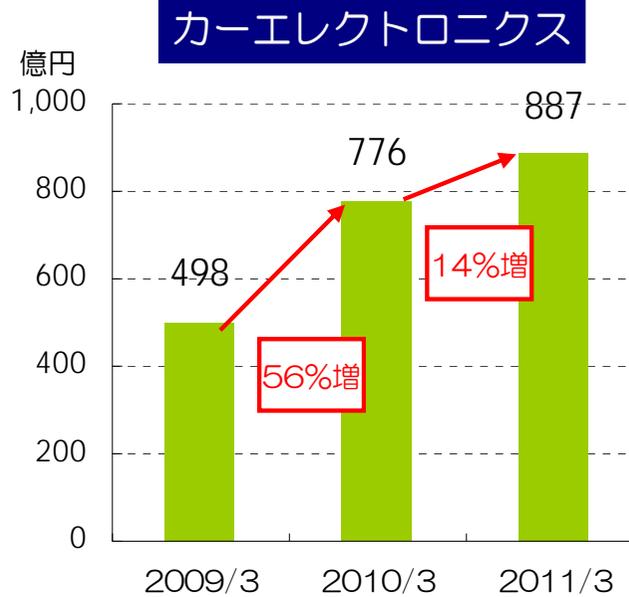
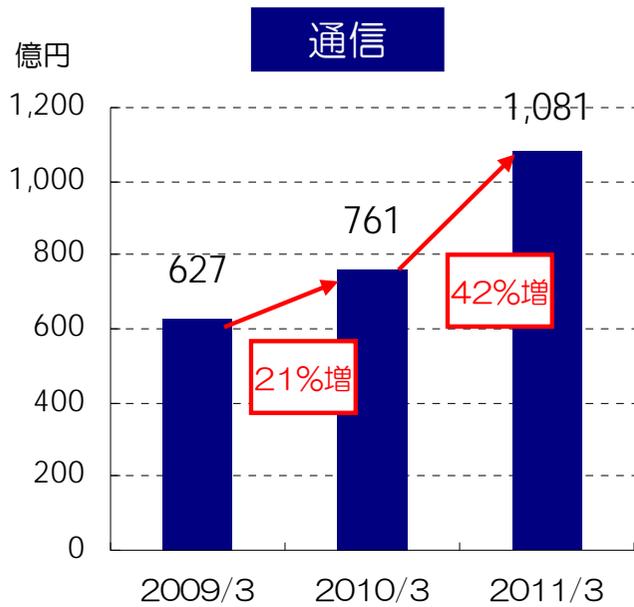
スマートフォンを中心とした通信機器市場向けの販売が大幅に増加
自動車及び産業機器市場向けの販売も堅調に推移

◆その他受動部品事業

売上高：1,500億円、前期比25.2%増

高周波部品が、スマートフォンを中心とした通信機器市場向けに増加
圧電材料部品及び回路保護部品が産業機器市場向けに増加

受動部品事業・分野別売上高の推移

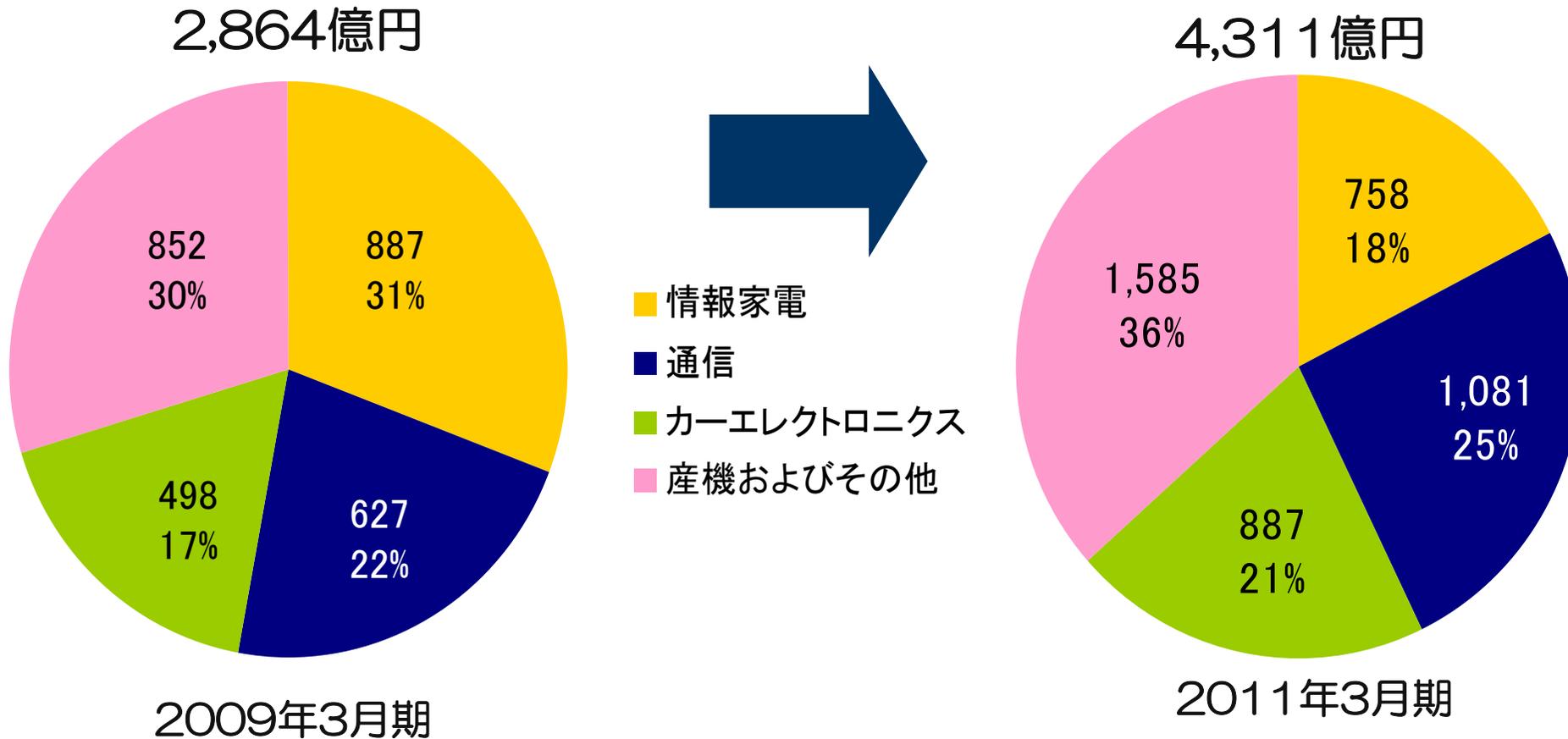


重点3分野の売上が大幅に増加

1. 通信
2. カーエレクトロニクス
3. その他 (再生可能エネルギー、産業機器などを含む)

※2009年3月期の下期よりエプコス連結

分野別売上構成の変化

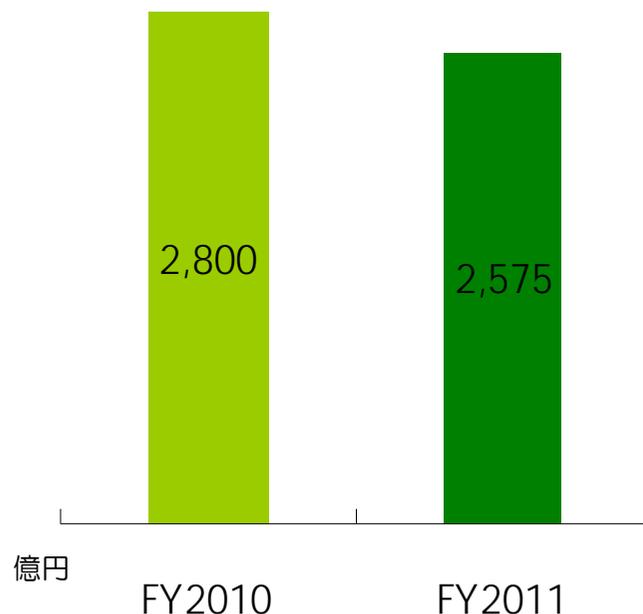


- 売上の増加に伴い分野別構成比が変化
- 情報家電分野以外の3分野の構成比が2009年3月期の69%から2011年3月期には82%まで拡大

記録デバイス事業について

常務執行役員
小林 敦夫

記録デバイス売上高



事業概況

- 記録デバイス事業
 - ・売上高：2,575億、前期比8%減
 - ・HDD用ヘッドの売上は円高と単価下落の影響を受け減収

出荷指数

FY March'10				FY March'11			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
100	119	129	128	122	122	125	116

<今期のポイント>

- ・2.5 inch 500GB/Pの量産開始
- ・3.5 inch 1TB/Pの量産開始
- ・サスペンション事業におけるDSA搭載による付加価値アップ
- ・来期量産開始に向けた熱アシストヘッド技術の確立

補足資料

(億円)	2010年3月期 通期実績	2011年3月期 通期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
固定資産の取得	644	786	142	22.0
減価償却費	838	776	△ 62	△ 7.4
研究開発費	539	530	△ 10	△ 1.8
為替	対ドルレート	92円89銭	85円73銭	7.7%の円高
	対ユーロレート	131円18銭	113円12銭	13.8%の円高
	為替感応度	<1円の円高による感応度> US\$/¥ : 売上高約55億円、営業利益約20億円 EURO/¥ : 売上高約15億円、営業利益約1億円未満		

受動部品・主要製品の四半期比較（3Q vs 4Q）

製品区分 第3四半期売上金額 第4四半期売上金額 増減 %	増減要因
コンデンサ 352億円 345億円 -2.0%	<ul style="list-style-type: none"> ●セラミックコンデンサ 自動車向け販売は微増 PC、AV、通信機器向け販売が減少 ●アルミ電解コンデンサ/フィルムコンデンサ 産業機器、再生可能エネルギー機器向け販売が底堅く推移
インダクティブデバイス 339億円 350億円 +3.2%	AV、PC向け販売が減少 産業機器向けノイズ対策部品の販売が増加 自動車、スマートフォン、タブレットデバイス向け販売も微増
その他受動部品 393億円 386億円 -1.8%	<ul style="list-style-type: none"> ●高周波部品 携帯端末向け高周波部品の販売が減少 ●圧電材料部品及び回路保護部品 自動車向け圧電材料部品の販売が増加

四半期比較 (前期4Q vs 4Q) (3Q vs 4Q)

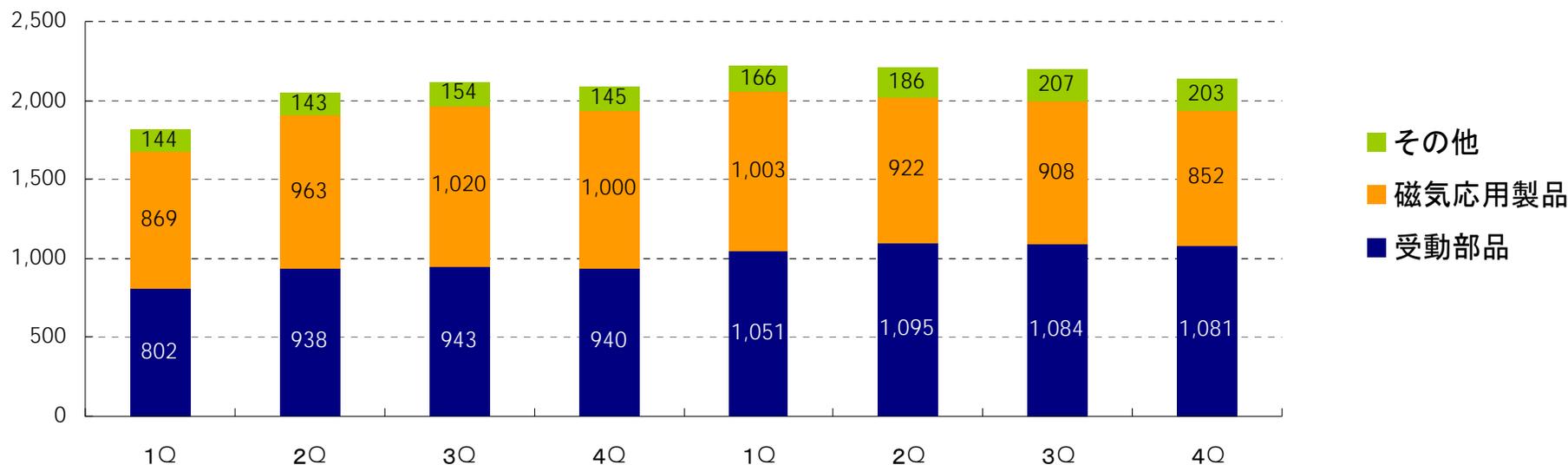


(億円)		2010年3月期 第4四半期 2010年1月~3月 (A)	2011年3月期 第3四半期 2010年10月~12月 (B)	2011年3月期 第4四半期 2011年1月~3月 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
		増減	増減率(%)	増減	増減率(%)			
内訳	売上高	2,113	2,199	2,136	23	1.1	△ 63	-2.9
	受動部品	965	1,084	1,081	116	12.0	△ 3	-0.3
	磁気応用製品	986	908	852	△ 134	-13.6	△ 56	-6.2
	その他	163	207	203	40	24.5	△ 4	-1.9
内訳	営業利益	83	172	94	11	13.3	△ 78	-45.3
	受動部品	△ 15	63	50	65	-	△ 13	-20.6
	磁気応用製品	150	115	68	△ 82	-54.7	△ 47	-40.9
	その他	21	20	8	△ 13	-61.9	△ 12	-60.0
	全社および消去	△ 73	△ 25	△ 32	41	-	△ 7	-
	営業利益率	3.9%	7.8%	4.4%	+0.5pt	-	-3.4pt	-
	税引前利益	111	166	89	△ 22	-19.8	△ 77	-46.4
	当期純利益	36	126	66	30	83.3	△ 60	-47.6
為替	対ドルレート	90円69銭	82円65銭	82円31銭				
	対ユーロレート	125円49銭	112円20銭	112円66銭				

売上高及び営業利益の四半期推移

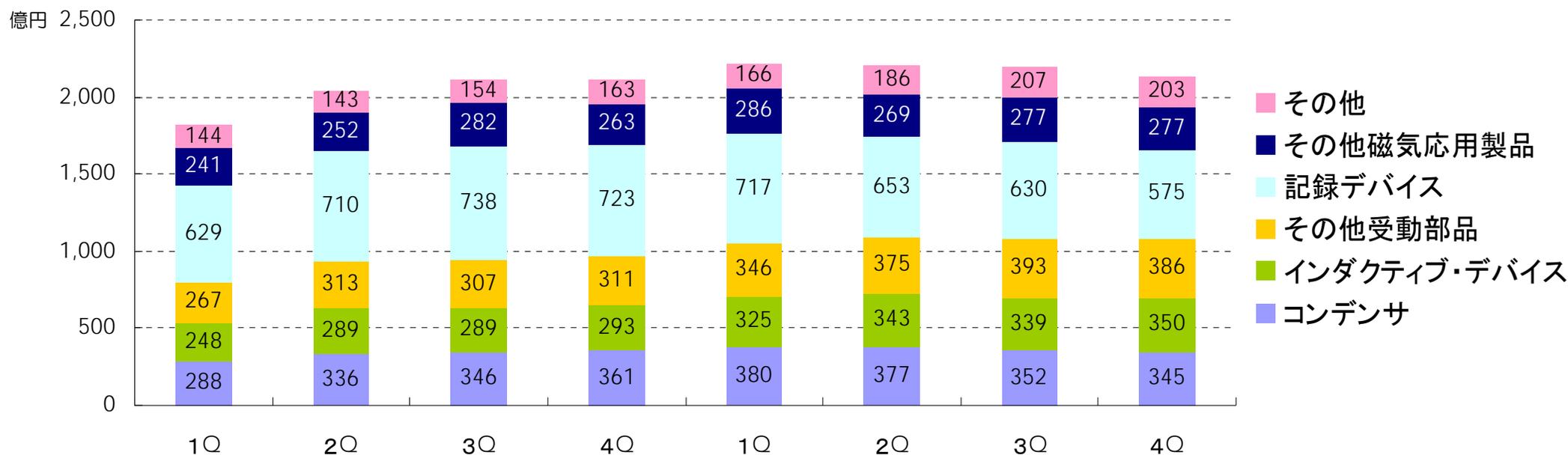
(億円)	2010年3月期					2011年3月期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
内訳	売上高	1,815	2,043	2,117	2,113	8,088	2,219	2,203	2,199	2,136	8,757
	受動部品	802	938	943	965	3,648	1,051	1,095	1,084	1,081	4,311
	磁気応用製品	869	963	1,020	986	3,837	1,003	922	908	852	3,685
	その他	144	143	154	163	603	166	186	207	203	761
内訳	営業利益	△ 36	90	121	83	258	202	170	172	94	638
	受動部品	△ 92	2	3	△ 15	△ 103	62	73	63	50	247
	磁気応用製品	59	113	146	150	467	161	125	115	68	469
	その他	8	12	11	21	52	11	17	20	8	55
	小計	△ 24	127	159	156	416	233	215	197	126	771
	全社および消去	△ 12	△ 37	△ 38	△ 73	△ 159	△ 31	△ 45	△ 25	△ 32	△ 133
為替	¥/USD	97.36	93.73	89.73	90.69	92.89	92.01	85.88	82.65	82.31	85.73
	¥/EURO	132.66	133.75	132.66	125.49	131.18	117.03	110.67	112.20	112.66	113.12

億円



売上高四半期推移（セグメント内の内訳）

(億円)		2010年3月期					2011年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高		1,815	2,043	2,117	2,113	8,088	2,219	2,203	2,199	2,136	8,757
内訳	受動部品	802	938	943	965	3,648	1,051	1,095	1,084	1,081	4,311
	コンデンサ	288	336	346	361	1,331	380	377	352	345	1,454
	インダクティブデバイス	248	289	289	293	1,120	325	343	339	350	1,358
	その他受動部品	267	313	307	311	1,197	346	375	393	386	1,500
内訳	磁気応用製品	869	963	1,020	986	3,837	1,003	922	908	852	3,685
	記録デバイス	629	710	738	723	2,800	717	653	630	575	2,575
	その他磁気応用製品	241	252	282	263	1,037	286	269	277	277	1,110
その他		144	143	154	163	603	166	186	207	203	761
為替	¥/USD	97.36	93.73	89.73	90.69	92.89	92.01	85.88	82.65	82.31	85.73
	¥/EURO	132.66	133.75	132.66	125.49	131.18	117.03	110.67	112.20	112.66	113.12



売上高及び海外売上高比率



営業利益・純利益及び営業利益率



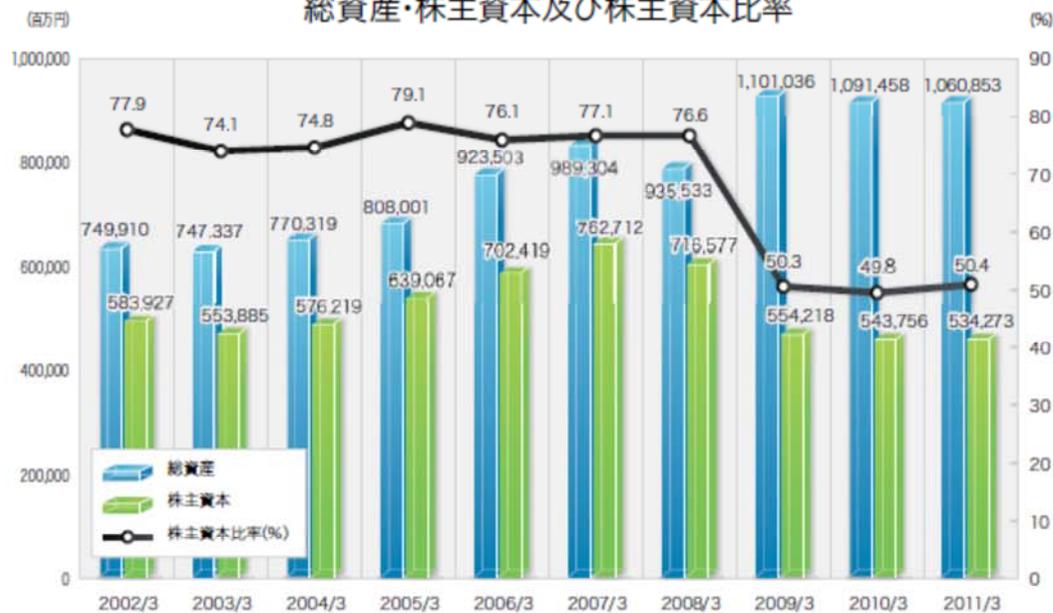
研究開発費及び売上高比率



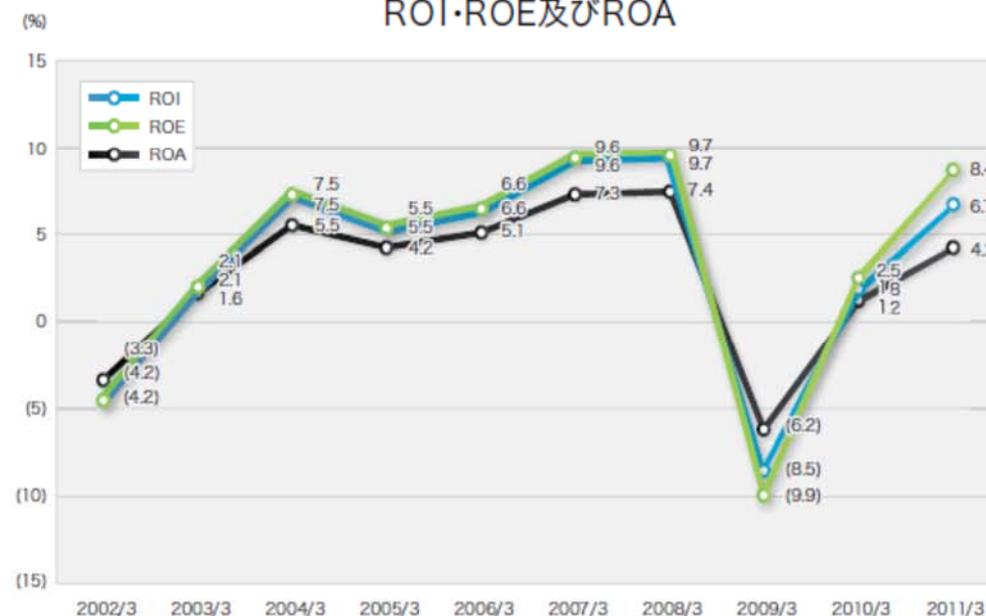
固定資産の取得及び減価償却費



総資産・株主資本及び株主資本比率



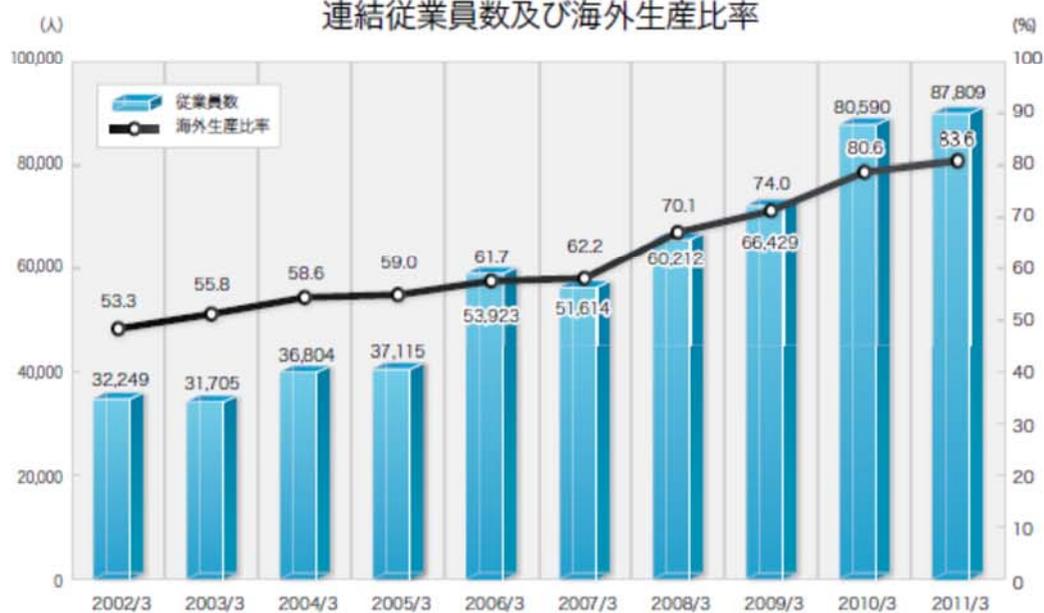
ROI・ROE及びROA



一株当たり配当金及び配当性向



連結従業員数及び海外生産比率



この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。

